

# 特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

代理人 中島 淳 様  あて名 〒160-0022 日本国東京都新宿区新宿4丁目3番17号 HK新宿ビル7階 太陽国際特許事務所
---

(2005)

PCT  
 国際予備審査機関の見解書  
 (法第13条)  
 [PCT規則66]

発送日  
 (日.月.年) 01.11.2005

出願人又は代理人 の書類記号 BR-F03038-00	応答期間 上記発送日から 2 月以内
国際出願番号 PCT/J P 2004/014839	国際出願日 (日.月.年) 07.10.2004
	優先日 (日.月.年) 09.10.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> B60C11/03, 11/04, 11/11	
出願人 (氏名又は名称) 株式会社ブリヂストン	

1. <input checked="" type="checkbox"/> 国際調査機関の作成した見解書は、国際予備審査機関の見解書と	<input checked="" type="checkbox"/> みなされる。 <input type="checkbox"/> みなされない。
2. この 2 回目の見解書は、次の内容を含む。	
<input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 見解の基礎	
<input type="checkbox"/> 第II欄 優先権	
<input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成	
<input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如	
<input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 法第13条 (PCT規則66.2(a)(ii)) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明	
<input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献	
<input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備	
<input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見	
3. 出願人は、この見解書に応答することが求められる。	
いつ?	上記応答期間を参照すること。この応答期間に間に合わないときは、出願人は、法第13条 (PCT規則66.2(e)) に規定するとおり、その期間の経過前に国際予備審査機関に期間延長を請求することができる。ただし、期間延長が認められるのは合理的な理由があり、かつスケジュールに余裕がある場合に限られることに注意されたい。
どのように?	法第13条 (PCT規則66.3) の規定に従い、答弁書及び必要な場合には、補正書を提出する。補正書の様式及び言語については、法施行規則第62条 (PCT規則66.8及び66.9) を参照すること。
なお	補正書を提出する追加の機会については、法施行規則第61条の2 (PCT規則66.4) を参照すること。補正書及び/又は答弁書の審査官による考慮については、PCT規則66.4の2を参照すること。審査官との非公式の連絡については、PCT規則66.6を参照すること。
応答がないときは、国際予備審査報告は、この見解書に基づき作成される。	
4. 特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第2章) 作成の最終期限は、PCT規則69.2の規定により 18.02.2006 である。	

名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 上坊寺 宏枝 電話番号 03-3581-1101 内線 3430	4 F	9834
---	---	-----	------

## 第1欄 見解の基礎

1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則 12.3(a)、23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則 12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則 55.2(a)又は55.3(a))

2. この見解書は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この見解書において「出願時」とする。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 \_\_\_\_\_ 1-5 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 3-6, 8-14, 16-19 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ 1, 7, 15 \_\_\_\_\_ 項、04.08.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ 項、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 \_\_\_\_\_ 1-5 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この見解書は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第13条（PCT規則66.2(a)(ii)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1, 3-6, 9-12, 15-19	有
	請求の範囲	7, 8, 13, 14	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1, 3-6, 9-12, 15-19	有
	請求の範囲	7, 8, 13, 14	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1, 3-19	有
	請求の範囲		無

## 2. 文献及び説明

文献1：日本国実用新案登録出願5-60113号（日本国実用新案登録出願公開6-50902号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM

（ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー），  
1994.07.12，実用新案登録請求の範囲，【0005】，  
【0034】－【0038】，図15，17  
&US 5337816 A&EP 600265 A1

請求の範囲1、3-6、9-12、15-19に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲7、8、13、14に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。

80. 2. 3257

AP20 Rec'd PCT/PTO 10 APR 2006

Written Opinion (Second)

Issue Date: 1 November 2005

2. References and Description Thereof

Reference 1: CD-ROM on which description and drawings originally attached to the request for Japanese Utility Model Registration Application No. 5-60113 (Japanese Utility Model Registration Application Laid Open No. 6-50902) is recorded (The Goodyear Tire & Rubber Company), July 12, 1994

Claims, paragraphs 5 and 34-38, and figures 15 and 17; and

US 5337816 A; and

EP 600265 A1

The inventions relating to claims 1, 3-6, 9-12 and 15-19 are not described in any of the References cited in the International Search Report and would not be obvious to persons skilled in the art.

Claims 7, 8, 13 and 14

The inventions relating to claims 7, 8, 13 and 14 are described in Reference 1 cited in the International Search Report and thus lack novelty and inventive steps.

Best Available Copy

答 弁 書



特許庁長官殿

1. 国際出願の表示 PCT/J P 2004 / 014839

2. 出 願 人

名 称 株式会社ブリヂストン


BRIDGESTONE CORPORATION

あて名 〒104-8340 日本国東京都中央区京橋一丁目10番1号  
10-1, Kyobashi 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-8340,  
JAPAN

国 籍 日本国 JAPAN

住 所 日本国 JAPAN

3. 代理人

氏 名 7904 弁理士 中島 淳   
NAKAJIMA Jun

あて名 〒160-0022 日本国東京都新宿区新宿4丁目3番  
17号 HK新宿ビル7階 太陽国際特許事務所  
TAIYO, NAKAJIMA & KATO  
Seventh Floor, HK-Shinjuku Bldg., 3-17,  
Shinjuku 4-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0022,  
Japan

4. 通知の日付 18. 1. 2005

## 5. 答弁の内容

(1) 審査官殿は、日本国実用新案登録出願5-60113号(以下、「文献1」と称する)を引用されると共に、本件請求の範囲第1項乃至19に係る発明が、文献1により新規性あるいは進歩性を有しないと指摘されております。

そこで、上記ご指摘を踏まえ、本件の独立項1、7および15を適宜減縮致しましたのでご確認ください(同日付で提出の答弁書をご参照下さい)。

本願請求項1においては、「前記トレッドが、長ピッチを挟んで中ピッチ及び短ピッチとなるように配置されると共に、一方の面の前記長ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も大きい部分に、他方の面の前記短ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も小さい部分に対応する」旨の減縮を加えました。

文献1は、上記「一方の面の前記長ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も大きい部分に、他方の面の前記短ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も小さい部分に対応する」特徴について全く開示も示唆もしておりません。従って、上記(補正後)請求項1は文献1に対して明らかに新規性を有すると存じます。

また、文献1は「トレッドデザインパターンになるべく多くのラグを使用すること」と「タイヤトレッドの泥詰まりを回避すること」の両立を図ることを発明の目的としており、「牽引力を一定にする」視点を完全に欠いておりますので、トレッド周方向のいずれの接地箇所においても「牽引力に大きな違いが出ない」

(本件明細書の【0029】段落)ようにするための本願(補正後)請求項1の上記「一方の面の前記長ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も大きい部分に、他方の面の前記短ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も小さい部分に対応する」特徴は、文献1から自明でないと存じます。

一方、本件発明においては、上記(補正後)請求項1の「一方の面の前記長ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も大きい部分に、他方の面の前記短ピッチすなわちトレッドのピッチ間隔が最も小さい部分に対応する」特徴により、

- ・左右の各面で発生する牽引力が、トレッド周方向いずれの接地箇所においてもほぼ均一となる(本件明細書の【0029】段落参照)、

- ・よって、タイヤの蛇行が回避され、安定した直進性が発揮される、

という優れた効果がもたらされます。

従いまして、上記特徴で減縮された本願（補正後）請求項１は、文献１に対して十分な進歩性も併せて有すると存じます。

なお、本願請求項７および請求項１５に対する減縮も、上記請求項１と同様の主旨に基づいております。

（２）以上の理由により、本件出願の請求の範囲第１項乃至１９に係る発明は、文献１に対して新規性のみならず十分な進歩性も有すると確信致します。

以上

## 5. Contents of Written Reply

(1) The examiner cited Japanese Utility Model Registration Application No. 5-60113 (hereinafter, "Reference 1") and indicated that the inventions relating to claims 1 to 19 lack novelty or inventive steps on the basis of Reference 1.

In response to the indication, we have limited the scopes of independent claims 1, 7 and 15. (Please see Written Reply submitted on the same date of this Written Reply.)

We have added a limitation to claim 1 that "the tread lugs are disposed such that long-pitches are interposed between middle-pitches and short-pitches, and long-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is largest, on one of the right and left areas correspond to short-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is smallest, on the other of the areas".

Reference 1 has no disclosure or even suggestion regarding the above-described feature of "long-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is largest, on one of the right and left areas correspond to short-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is smallest, on the other of the areas". Accordingly, we believe that amended claim 1 obviously has novelty with respect to Reference 1.

Further, the purpose of the invention described in Reference 1 is simultaneous



pursuit of “employing as many as possible of lugs for the tread (design) pattern” and “avoiding mud becoming stuck between tire treads”. Thus, the invention described in Reference 1 has absolutely no approach to “making traction uniform”. Therefore, we believe that the feature described in amended claim 1 of the present application (see paragraph 29 of the description), i.e., “long-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is largest on one of the right and left areas correspond to short-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is smallest, on the other of the areas”, which is for “making the traction substantially uniform” at any area of the contact patch in the circumferential direction of the tread, is not obvious from the description of Reference 1.

Furthermore, in the present invention, the feature of “long-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is largest on one of the right and left areas correspond to short-pitches, i.e., portions where the interval of the tread lugs is smallest, on the other of the areas” of amended claim 1 makes the traction generated at both right and left areas of the contact patch substantially uniform (see paragraph 29 of the description).

Thus, the present invention exhibits excellent effects that the tires can be prevented from winding and that stable straight traveling property can be provided.

Accordingly, amended claim 1 of the present application which has been limited with the above feature also has sufficient inventive steps with respect to

Reference 1.

The limitation added to claims 7 and 15 are based on the same limitation as that added to claim 1.

2. According to the reasons described above, we are certain that the inventions relating to claims 1 to 19 have novelty as well as sufficient inventive steps with respect to Reference 1.